

【事例 H29-54】相模原市

自死遺族支援事業

【概要】身近な人を自死で亡くした人、遺族に対する相談支援を行うとともに、遺族の自助グループ等の地域における活動を支援する。自死遺族支援を行う民間団体に対する支援と地域での連携強化を図り、普及啓発の効果的な実施や自殺対策に関する取組状況等の周知を行う。地域の状況に合わせた自殺対策を推進するため、近隣自治体と広域的な連携を強化し、情報交換や課題の検討を行い、よりよい自死遺族支援事業の実施を期するもの。

【大綱の分類】

3. 自殺総合対策の推進に資する調査研究等を推進する。
9. 遺された人への支援を充実する。

【政策パッケージ分類】

基本4-3) 遺された人への支援

【事業実施年度】2018年度事例(2007年度～)

【事業予算】555,800円(2018年度)

【利点】

- ▼ 身近な人を自死で亡くした人(自死遺族等)のニーズに合わせた支援ができる。
- ▼ 近隣自治体及び民間団体と連携することで、自死遺族支援に係る情報共有等を行い、よりよい支援の実施につなげるとともに、地元では相談しにくい人の相談機会が確保できるなどの利点がある。

【実施に至るまで】

自死遺族支援が必要な背景

- ▼ 自死によって身近な人を亡くすことは非常事態であり、家族や同僚など周囲の関係者に深刻な影響があるといわれている。
- ▼ 自死遺族等は、自殺に対する社会の偏見などから身近な人の死について話すことを躊躇したり、自分を責めたり、自分も死んでしまいたいと思うなど、様々な感情を抱き、心身の不調を感じることもある。その影響は、自死の直後だけではなく年数を経ても継続し、深刻さを増す場合もある。
- ▼ 心理面への影響だけではなく、亡くなったことに伴う様々な手続きや法的な問題を抱える場合もある。こうした自死遺族等が直面する状況を理解した上で、その個別性を尊重しつつ、寄り添った支援が必要である。

自死遺族支援の具体的な内容等

- ▼ 自殺予防・自死遺族専門電話相談“いきる”ホットラインの設置(2007年度～)
自殺予防専門電話相談“いきる”ホットラインを設置。2017年度に現在の名称に変更
【受付時間等】日曜日(年末年始を除く)17時～21時30分
【その他】・回線数1回線、相談員1名(委託)、市担当職員2名(常勤・兼務)
・受付時間以外の自殺や自死遺族に関する相談等は、市担当課(平日8時30分～17時15分)、こころの電話相談(年末年始を除く月曜日～土曜日、17時～21時30分)で対応
・相談件数等、統計を出している。
- ▼ 自死遺族の集い(さがみはらわかち合いの会)開始(2010年度～)
市外の集いに参加を希望する市民のニーズに応じ、近隣自治体と連携して相互に受け入れている。各自死遺族の集いの開催日程等について周知している。開催に当たっては、民間団体の協力を得ている。
【開催日等】本市での開催は、年6回(2か月に1回)

- 【その他】・市担当職員2名（常勤・兼務）
- ・参加者に対し、アンケートを取り、会の在り方等を検討する材料としている。

▼ 自死遺族支援事業担当課連絡会議への参画（2015年度～）

【開催頻度】年1回

【目的】自死遺族支援に係る情報交換、課題の検討等

【参加者】近隣自治体職員（2018年度は10自治体の自死遺族支援担当が参加）、民間団体2団体

【その他】市担当職員2名（常勤・兼務）

▼ 自死遺族支援に資する情報の提供

○リーフレット配架

自死に直面した時に現れやすい心身の変化、必要な手続き、相談窓口等の情報をまとめたもの

○チラシ配架

自死遺族の集いの案内、本市の開催日程・会場他、近隣6自治体の開催日程や問合せ先、秘密厳守など安心して御参加いただくための約束事、相談電話を掲載

○市自殺対策ホームページ「リブちゃんネル」

自殺対策やメンタルヘルスについての情報等をまとめた自殺対策特設サイト。自死遺族支援に関しては「身近な人、大切な人を亡くされたあなたへ」のページがある。なお、自死遺族支援に関する情報や「リブちゃんネル」は市ホームページからもアクセスできる。

【成果】

▼ 自死遺族の集い（さがみはら わかち合いの会）

- ・2018年度実績では1開催あたり平均4.3人の参加があり、一定数の利用がある。
- ・年間参加者の実人数における新規参加者と継続参加者は約半数ずつ。継続参加のニーズに応えると共に、事業の周知ができています。
- ・インターネット上での周知の他、近隣自治体や関係団体との広域連携の取組により、年間参加者の半数以上を市外在住者が占め、市外在住者の受け皿となっている。
- ・会の周知は、市や関係団体のホームページ掲載の他、市関係課・機関及び近隣自治体にとどまらず、早い時期に自死遺族と接する機会がある管内警察署、近郊の葬祭業社等へ案内チラシを送付している。このことが、新規や市外の方の参加や身近な人を自死で亡くして1～3か月等比較的早い時期の参加につながっている。
- ・参加者数26名中、アンケート回収数は25枚（回収率：96.2%）。参加した感想は90%以上が「大変良かった」「良かった」と回答し、好意的な意見の記載が多かった。

2018年度実績＞参加者数：実人数 16人 延べ人数 26人

	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
年度新	3	7	1	3	0	2	16
年度再	0	0	4	1	1	4	10
合計	3	7	5	4	1	6	26

▼ 自殺予防・自死遺族専門電話相談“いきる”ホットライン

- ・年間開設予定日数は52日間であったが、台風により9月30日が中止となったため51日間の開催となった。
- ・相談件数は年間合計282件、相談時間は年間合計9197分。1日あたり平均5.53件、平均相談時間は32.6分であり、一定数の利用がある。
- ・対象者は20～59歳の働き盛り世代の本人からの相談が半数以上を占める。

【課題】

- ▼ わかち合いの会参加者アンケート結果の分析や広域連携を通じた情報収集により、会の運営の改善や周知先の拡大等モニタリングを継続する必要がある。

【事業種別】 自死遺族支援事業

【準備期間】 0日（2017年度）

※2017年度時点で全事業が開始しているため、事業立上げに係る準備期間等はなし。各事業立上げ時の準備期間については不明

【人数】 3人（自死遺族の集い立上げ時（2010年度）担当者数：常勤・兼務）

【人口規模】 721,477人（2017年1月）

【財政規模】 168,376,452,000円（2017年度）

【自治体負担率】 47.67%（2018年度事業予算額について）

【事業対象】 自死遺族等及び支援者

【支援対象】 自死遺族等

【委託の有無】 無（自殺予防・自死遺族専門電話相談“いきる”ホットラインは委託）

【実施主体・問合せ先】 相模原市健康福祉局地域包括ケア推進部精神保健福祉課

TEL：042（769）9813

Mail：seishinhoken@city.sagamihara.kanagawa.jp

【参考資料・文献】

(ア) 市自殺対策ホームページ「リブちゃんネル」

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/livechannel/1012529/index.html>